

**授業概要**：福島第一原発事故での原発安全神話の崩壊、続く放射能安全神話の発生。「環境問題は専門家にまかせておくしかない地球レベルの問題だ」という”常識”も崩壊した。物事を根本から問い直し、身近な環境問題を足元から解決するための知恵と経験を学ぶなかで、身の周りで何か問題が起こったら、と想像できる感性を育てると共に、みずからの暮らしを守るために行動に移す勇気を培います。現場の声に耳を傾け、マスコミには載らない情報に触れることで、さまざまなマインドコントロールを越えて、自分の生活そのものを再点検しながら深く考え、足元から暮らしと環境を変えていくきっかけをつかむ生活者となることを目指します。

# 環境問題

平成 26 年 4 月 11 日(金)～7 月 25 日(金) 10 時 20 分～11 時 50 分

山口県立大学 6 号館 F 204 教室

講師：国際文化学部教授 安溪 遊地

①	4. 11 (金)	何が真実か？ - 学者の責任・マスコミの責任・生活者の責任
②	4. 18 (金)	田中正造・宇井純・高木仁三郎 - 被害者の側に立った先人達に学ぶ
③	4. 25 (金)	チェルノブイリから福島へ - 低線量ひばくについての隠された事実
④	5. 2 (金)	山口県内の上関原発計画 - 祝島住民の国策との 30 年のたたかい
⑤	5. 16 (金)	奇跡の海を守る - 生物多様性からみた瀬戸内海 (山口市・安溪貴子・生態学)
⑥	5. 23 (金)	環境破壊の原動力としての「お金」を問い直す(1) - 「お金」が通用しない世界で
⑦	5. 30 (金)	環境破壊の原動力としての「お金」を問い直す(2) - 日本人の「地球2個分の暮らし」
⑧	6. 6 (金)	「便利さ」を問い直す(1)いつも「食品の裏側」を考える習慣を！
⑨	6. 13 (金)	「便利さ」を問い直す(2)身近な電磁波を計って見よう(県立大教授・新谷 明雲・物理学)
⑩	6. 20 (金)	戦争こそ最大の環境破壊(1) 沖縄戦・ベトナム戦争の枯葉剤・911の疑惑と対テロ戦争
⑪	6. 27 (金)	戦争こそ最大の環境破壊(2) 米軍基地と共存する暮らしとは (元岩国市長・井原勝介)
⑫	7. 4 (金)	未来へ(1)「若者が帰ってくるふるさと」をつくる (阿武町議・白松博之)
⑬	7. 11 (金)	未来へ(2)エネルギーも食料も自給できる
⑭	7. 18 (金)	超便利社会との共生 (県立大教授・新谷 明雲・物理学)
⑮	7. 25 (金)	Small is beautiful いま足元から生きるために (県立大教授・安溪遊地、新谷明雲)

受講料:1回 500 円(10 回以上 5,000 円)

お申し込み・問い合わせ：電話、FAX またはハガキで、下記までお申し込みください。

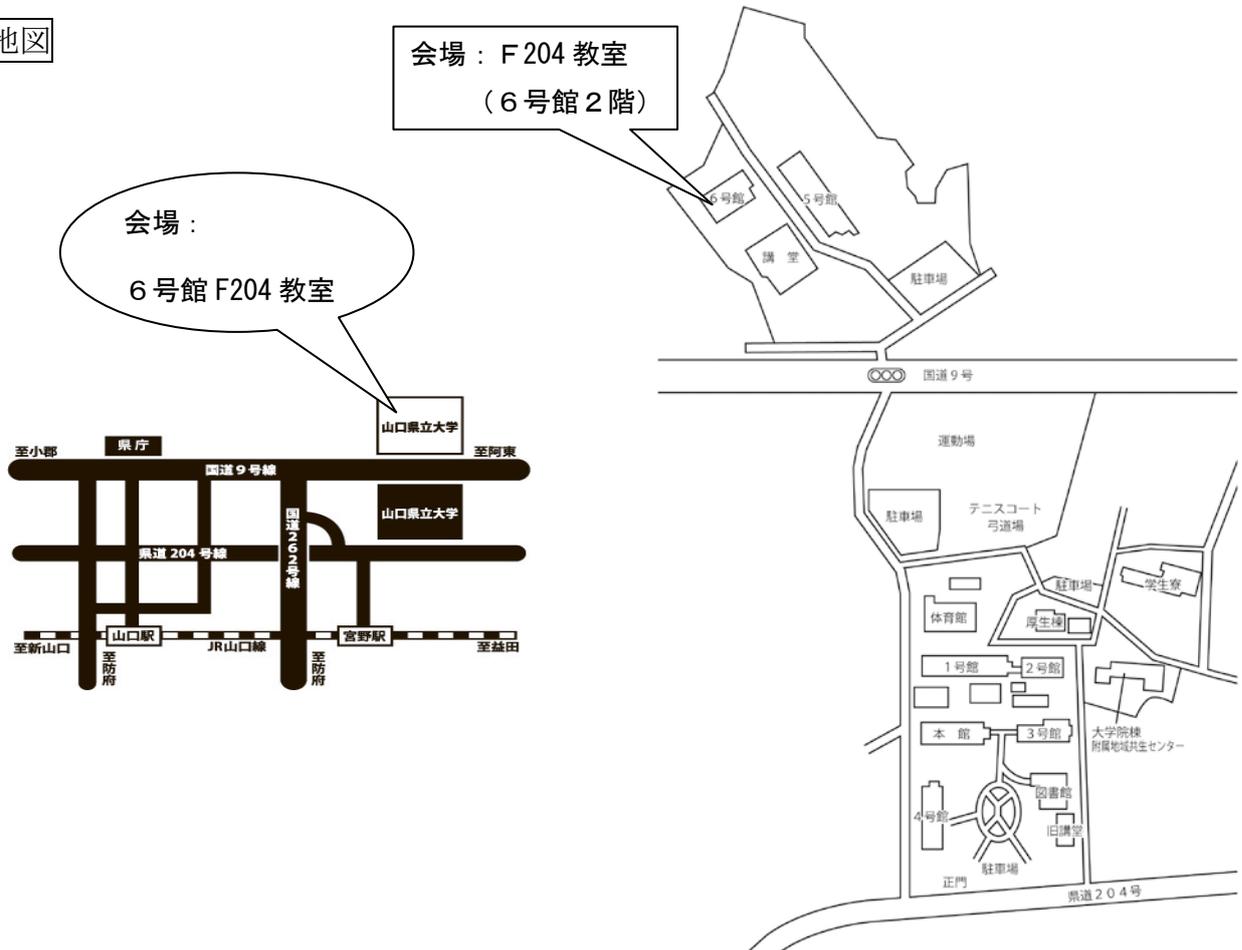
山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

【電話/FAX】 0 8 3 - 9 2 8 - 3 4 9 5 〒753-8502 山口市桜畠3丁目2-1

受講にあたって

- ◆ 部分受講もできます。
- ◆ 13回以上受講された方には、「山口県立大学公開授業受講修了証書」を授与いたします。

会場地図



平成 26 年度 山口県立大学前期公開授業「環境問題」受講申込書

山口県立大学附属地域共生センター生涯学習部門 宛

電話/FAX 083-928-3495

(ふりがな) お名前	
ご住所	〒
電話・FAX 番号	電話 FAX